

# 明るいシステム倶楽部 会報2月号

(2024年)

甲辰（きのえたつ）の年明けは大変な幕開けとなりました。

元日に能登半島地震が猛威を振るい、翌日には羽田空港で日航機と海上保安庁航空機の衝突・炎上事故が発生し、大変な被害と多くの犠牲者が出るという痛ましい状況となりました。改めて、亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。ただ、日航機の搭乗者全員が無事だったことは、不幸中の幸いです。

前者に関して気になる点は、災害関連死が取り沙汰されることが頻繁にあり、インフラの復旧のスピードアップと同時に、一時（いっとき）避難～二次避難のあり方、必要物資の適切な供給体制他、非常に多岐にわたる救援や支援等が求められ、総合的な視野も含めて、国や各自治体、一般市民を含む強力な応援が必須とも言えます。

こうした非常時にどう対応するかについては、一般企業もコロナ禍や人口減少と少子化、物価高他、日常的に自ずと考える機会は増大しつつあり、私達はそうした課題に対して、無防備ではなく、日頃から少しでも賢い体力（免疫力）を蓄えておくことが肝要でしょう。

当倶楽部におきましても、社会の動きに対して、より敏感に反応・対処する術（すべ）を身に着けるべく、既認証企業等との意見交換を含む交流、当倶楽部会員のAKS市民大学への参加等に留まらない交流を広げ、深度化を進める段階が来ているとも言えます。

そうした中、来たる3月19日（火）には、新たな認証候補企業をお迎えし、明るい社会、明るい企業づくりへ向けて、皆様のご期待に少しでもお応えできればと思っております。

## < 2月の送付物 >

- ① 日本一明るい経済新聞 2月号
- ② 年会費納入のお願い（該当者のみ）



明るいシステム  
倶楽部  
ホームページ

## < 2月以降の主な活動予定 >

2/3(土)	気楽な ZOOM サロン(38)	当倶楽部会員専用の交流の場です	20:00～21:30
2/21(水)	役員会議(43)	今年度事業計画の進捗状況	13:30～14:40
2/21(水)	明るいシステム検討会議(26)	「明るいこと」の意味ほか	15:00～16:00
3/19(火)	第63回 明るいセミナー	大阪産業創造館4階イベントホール	14:00～16:30

### AKS 市民大学 (ZOOM 形式)

2/14(水)	菊池教室(37)	感性を育む和学講座「ひな祭り」	20:00～21:30
2/24(土)	宮崎教室(41)	「あっ！と驚く問題解決法」	20:00～21:30
2/27(火)	柴原・松居教室(30)	「藤井聡太 八冠」	20:00～21:30

「100歳青春」を目指して明るく、元気に生きるシニアの心得  
— 「龍神のすごい浄化術」より —

明るいシステム倶楽部会員 黒田 能弘  
(くろだ・よしひろ)

本年は、「辰妙年」ということもあり、開運になるであろう本を紹介します。  
著者はSHINGO/龍を呼び、龍をつなぐドラゴン・マスターという方で、普段考えることもない少しスピリチュアルな本です。わたし（黒田）には、とても新鮮で、興味津々でした。

はじめに：龍神様とのご縁がつながる本。私は龍神様について、みなさんにお伝えする活動をしています。なぜ、私はこのような活動をしているのか？ その理由は、龍神様に命を救っていただいたからです。和歌山県にある聖地・高野山で、私は初めて龍神様にお会いしました。

燈籠堂と呼ばれるお堂の中に、龍神様が「ど〜ん」と現れたのです。最初は自分の目を疑いました。しかし、そこにいらっしゃったのは確かに龍神様です。それからというもの、私の人生は180度変わりました。世界遺産・熊野三山の奥宮といわれる玉置神社でも、高野山のとくと同じように龍神様にお会いしました。「龍神様はすごいんだよ！」「龍神様は人生を変えてくれるんだよ！」ということ、声を大にして伝えたいのです。自分の未来に対して、少しでも不安を感じるならば、ぜひ龍神様のお力をお借りしてください。龍神様はいつでもどこでも、私たち人間に愛のエネルギーを送ってくれています。

いま私たちが生きているのは「土の時代」が終わり、「風の時代」へと変わるタイミングです。「土の時代」は「目に見えるものを大切にす時代」、「風の時代」は「目に見えないものを大切にす時代」です。これからますます「風の時代」の勢いが加速し、「目に見えないものを大切にす人たち」がもっとも増えることでしょう。そして「風の時代」をリードしていく神様こそ、「龍神様」なのです。いま、私たちはまさに「龍の時代」を生きています。

◆なぜ、9割の浄化はうまくいかないのか？ 「邪気払い」の方法は世の中にたくさんあります。代表的なものは「玄関に盛り塩を置く」「塩風呂（お風呂に塩を入れて入ること）」等です。でも残念ながら9割の人が「間違った邪気払い」をしているのです！「正しい邪気払い」とは、「神様にお力を借りる邪気払い」です。邪気払いをするときは、絶対に神さまのお力を借りたほうが良いのです。「邪気払い」は昔から人々の邪気を払ってきた「神様」にお任せしましょう。では、「間違った邪気払い」とは何でしょうか？ それは「神様のお力を借りない邪気払い」です。もっとシンプルに言えば「自分でがんばる邪気払い」です。どんなに邪気払いをがんばっても、神様のお力をお借りしなければ、邪気払いは中途半端で終わってしまいます。

\*わたし（黒田）は、昨年9月頃にこんな本を読んだこともあって、年始には、“龍神さん”で有名な高津宮（大阪府中央区）に参拝いたしました。お賽銭も普段は100円でしたが、1,000円を奮発しました（笑）。

寒さ厳しき折、ご自愛のほどを。

「100歳青春」メッセンジャー 兼 NPO法人高齢者・障がい者後見人の会 代表

◆西国三十三所札所巡り旅 (18) 西国 第 16 番札所 清水寺

音羽山 清水寺 (京都市東山区)

本尊：十一面千手千眼観世音菩薩

明るいシステム倶楽部会員 阿久根 芳臣

行程：大阪市内から 52km (阪高、近畿道、第二京阪、国道 24 号、143 号、河原町通)

清水<sup>きよみず</sup>さんだけで通るほど庶民に親しまれ、地方からの修学旅行の定番コース。1994 年ユネスコ世界文化遺産「古都京都の文化財」のひとつに登録されている。私も小中学生の時に来ているかも知れないが記憶に残ってない。当時、「伏見桃山城キャッスルランド」という遊園地があって京都で記憶に残っているのはここまでだ。子供にとって遊園地はさすがに強い。記憶にある清水寺は 19 歳の大学 1 年の時で清水の舞台<sup>けんがいつくり</sup>「懸崖造り」の見学だった。建築の講師からの説明を詳しく聴いたのが初見となる。以後、成人して海外からの客が来日するたびに清水寺→金閣寺→太秦映画村→(時間があれば宇治平等院)と定番コースで 30 回以上は来ているかも。しかし私にとっての清水寺は「舞台」が主役であって“日本を代表する観音信仰の霊場”という認識は全くなくて、今回始めた“西国三十三所札所巡り”で清水の名が出て来て「そーだったのかー池上彰〜」であった。

これまでは高台寺南門の駐車場に車を停めて二年坂→三年坂→清水坂と観光ルートの的に来ていたが今回は霊場巡りと云うことで正面の五条通りから清水坂に入り肅々と歩を進めた。奈良で修行を積んだ僧の賢心<sup>けんしん</sup>(のちの延鎮上人<sup>えんちんしょうにん</sup>)が開山し、草庵に過ぎなかった地に 2 年後の 780 年(宝亀 11)シカ狩りに訪れていた征夷大將軍・坂上田村麻呂がその殺生の罪を教えられて観音に帰依して仮仏殿を寄進し清水寺として創建されたという。

平安初期には官符<sup>かんぶ</sup>により、寺地を賜り鎮護<sup>ちんごこっか</sup>国家の道場となり皇室や公家、庶民の熱い観音信仰で隆盛したという。(清水坂観光駐車場は自動車 ¥1600 高い〜ので要注意)

奥の院から清水の舞台を望む



「懸崖造り」の舞台



我家の「開運ねこ」





## 「ちょっと困った」

明るいシステム倶楽部 理事 宮崎 英二

ハピネス心理学のセミナーでは出席者が「ちょっと困った」という問題提起があると、それをみんなで意見を出し合って解決する「ソクラテス・メソッド」スタイルで高次元の解決策を探求しています。

今回はその1例を紹介します

## 【不機嫌な後輩に手を焼くアイコさん】

アイコさんは営業の管理職をされているのですが、若いOLの1人に感情の起伏が大きい人の扱いに困っていて、どうしたらいいのでしょうかと問題提起がありました。

その人Zさんは何かあると不機嫌になり、否定的な言葉を連発して皆を困らせています。それだけでなく上司の私をバカにしたような言動を見せたりするので、腹が立ってしょうがありません。こんなことが続くと職場のモラルが低下してしまうので、Zさんの不機嫌を正す良い方法を教えてほしいのです。

宮崎 1；さて、皆さん。このZさんは、なぜこうしたネガティブな言動をするのかを考えてみてください。

Aさん「Zさんは、苦しみ、怒り、恨みなどの第1感情が満杯」

Bさん「私は強いのだと見せたい」

Cさん「プライドが高い人」

Dさん「賢くて強くて偉い人に見せたい」

Bさん「負けるのが 怖い・・・敗北恐怖症」

Dさん「私は優秀なのに評価されていない」



むしゃくしゃ

宮崎 2；Cさんはプライドが高いと言われましたが、プライドって何なのでしょう。

Cさん「自分は尊敬されるべきだという思いが強いのでは」

Aさん「弱いのを隠そうとする言動じゃないかな」

Dさん「他の人と一緒にしないでよと、上位に立ちたい思いがある人なのでしょう」

Bさん「常に上から目線の言動をする人。よくあるパターンです」

宮崎 3；色々出てきましたね。そのOLにどんな声をかければいいのでしょうか。

Bさん「認めてほめて、尊敬すると声掛けをすればいいと思います」

宮崎 4；最終的にはそうなんですが、その前に心に響くことを言ってほしいな。

Aさん「あなたは賢くて強くて偉い人ですね。そんな人に怒られたら怖いです」

宮崎 5；なるほど。そう言われると気分が変わりますね。

Dさん「あ、もっとポジティブなことを思いつきました。知性と教養のあるあなたの笑顔は、優しくて天使みたいですね」

宮崎 6；そう言われたら、怖い顔はできなくなりますでしょうね。アイコさんいかがですか。

アイコさん「うまく言えるかどうかわかりませんが、やるっきゃないですね。明日やってみます。

ありがとうございました」

※ この結果は、後日「とてもうまくいきました。」という報告がきました。

ヒューマニクス研究所（代表）／ハピネス心理学

AKS市民大学 宮崎教室・主宰

(株)いづよね 社長の対談を伺って

明るいシステム倶楽部 副理事長 兼 事務局長

高村 和義

昨年12月、「第62回 明るいセミナー」にて川崎恭雄社長に竹原編集長がインタビューする形で対談して頂きました。実質的に30分弱の対談でしたが、非常に面白く、かつ中身の濃いものでした。

帰り際に何名かの参加者にお聞きしたことも併せ、非常に好印象を持たれた方が多かったようです。

ここでは、事前に企業訪問した時に受けた説明等も踏まえて、強く印象に残った点を取り上げます。

### 事業への取り組み姿勢が変わった

創業が明治22年、130有余年続く米屋で、現社長は4代目であるが、経営が厳しい時に引き継いだ。

そうした中、17年前に腰に炎症を起し高熱を出し免疫力が低下して、このまま放置できない状況に追い込まれた。自らの難病を治すために生活習慣病と闘い、徹底した玄米食に切り替えた処、奇跡的にも2週間で体調が回復した。まさに玄米食の良さを心から実感した瞬間だったそうだ。

一方で、世間でカビの生えた米の事件が発生し、米の業界の信用問題に関わると判断し、米の品質管理が大切だという思いが生じた。また、将来を担う子供へ良質な米を提供したいという気持ちも強くなる。

### いかに米屋の商売の幅を広げられるか

1. 売りの明確化；「安心、安全な無農薬・特別栽培米の玄米」というキャッチフレーズ。
2. 入荷方法の選択肢を増やす；全国の農家とも連携するなど、農協を通さないケースもある。
3. 多様な注文方法；来店、口コミ、電話・FAX、ネット（メール、オンライン通販）等、多岐にわたる。  
取引方法別の割合；BtoB が70%、来店が27.5%、通販が2.5%。
4. 数多い種類の米の活用；異種の米のブレンド、ノベルティグッズ、誕生日プレゼント など。

商品としての米の意味づけを広げる努力を怠らない。

5. 加工分野への進出；今後、「おにぎり屋」への進出計画（川下展開）もある。



### 店全体の営業力の底上げに欠かせないもの

1. いい人材の確保と働きやすい職場環境づくり
  - (1) 採用時；「いい人材は明るさを継承できること」を基準に、また「採用に勝る教育なし」と考え経費をかける。「入社の前と後とのギャップをなくす」ことで、採用社員を大切に作る姿勢が明確である。
  - (2) 入社後の研修等；一年目は厳しく指導。一昨年までの6年間は離職率ゼロで、黄信号の段階で青信号に戻す努力を怠らない点も、社員育成に対する姿勢が非常に前向きで、きめ細かい印象を受ける。
  - (3) 働く社員のモチベーションの向上；米の価値の伝承。職場の風通し、個々の能力向上の工夫ほか。
2. 社員に夢を持たせる
  - (1) 社長の夢；社長自ら語る夢がある。経営理念に「お米であなたを笑顔にしたい」とあるが、更にその延長線上に「50年後、100年後、日本を米で笑顔にする」を夢見ておられ、素晴らしい。
  - (2) 地域との関わり；購入した山の竹を地域の保育園に配り、園児を喜ばせる活動も大切にしている。

最後に、訪問した時の店も終始笑顔の絶えない職場で、来客達の表情まで明るいのが印象的でした。

## 「明るいシステム」に照らしてみると

前頁では、「明るいセミナー」から提供された話題を中心に、(株)いづよねについて触れました。ここでは、「明るいシステム」の観点から話を展開したいと思います。

ご承知のように、明るいシステム倶楽部では、「明るい企業」をAKS0041認証するに当たって、以下の4つの条件に照らして考えています。

- |                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| (1) 明るいビジョンはあるか    | (2) 明るいリーダーシップが発揮されているか |
| (3) 明るい活動に取り組んでいるか | (4) 上記3項目について継続の仕組みはあるか |

(株)いづよねの事業活動を4条件に照らすと、以下のように整理できましょう。

### (1) 明るいビジョン

- ・経営理念として「お米であなたを笑顔にしたい」を推進している。

### (2) 明るいリーダーシップ

- ・社長が社員にも顧客にも地域にも常に明るく接し、周囲に笑顔が広がる。

### (3) 明るい活動（取り組み）

- ・内定者に対して；9月に、稲刈りをする日帰りの遠足を実施している。
- ・社員他に対して；誕生日プレゼントを社長から社員やパートに対し実施しており、大変好評。  
産地研修を社員旅行として実施し、大切な生産者との交流を重ねている。
- ・社員への権限移譲；若い社員に積極的に新企画を考えさせている。(例) 米の炊き方レシピ
- ・顧客への取り組み；数多い品種に迷う顧客のために「くじ引き」で選ぶ遊びを導入。
- ・店の工夫；店頭には石像のオブジェを置く。社長の顔、ビリケン他、3つの顔の特徴がある。  
店内では商品看板を寄席文字で表現し、寄席の雰囲気を前面に出し楽しさを演出。
- ・地域への活動；山の竹を購入し、地域の保育園に七夕の笹を約800本配っている。  
保育園のクリスマスで社員がサンタクロースになり、園児達を喜ばせている。

### (4) 継続の仕組み

- ・経営計画書（社外秘）；毎年8月上旬に交付。社員に配付し、会議、朝礼等でも常時携行。
- ・個別面接；毎月1回、前月と当月の状況を比較しながら意見交換している。  
実施内容、問題点、希望および点数評価や感想を出してもらい、PDCAを回す。

この規模で相当緻密な経営を展開しているのは、信頼できるコンサルタントのもと、米の持つ価値に気づき、社員と共に「米を普及させる伝道師」として情熱を注ぐ社長の姿勢を改めて感じました。

< (株) いづよねの会社概要 > 令和5年10月時点による。

- |                              |                |
|------------------------------|----------------|
| ・所在地；神戸市灘区記田町2-3-18（国道2号線沿い） | ・代表取締役；川崎 恭雄 氏 |
| ・業務内容；多様な米の売り方を展開する米穀店       |                |
| ・創業；明治22年                    | ・年商；2.5億円      |
|                              | ・従業員数；9名       |



川崎 社長